

一般社団法人日本家政学会家族関係学部会

第39回 家族関係学セミナープログラム

日時：2019年10月12日(土)13時 ～ 10月13日(日)12時10分

会場：神戸大学 鶴甲第2キャンパス

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区鶴甲3-11 電話：078-803-7905（代表）

日 程

10月12日(土)		
12時 ～	受付	B棟1階オープンスペース
13時 ～ 16時	公開シンポジウム	B棟202
	テーマ：地域におけるグローバル化と多文化共生 ー受け入れ国と送り出し国の家族・子ども・教育ー	
16時30分～17時30分	総会	B棟202
18時 ～ 20時	懇親会	鶴甲第2キャンパス食堂
10月13日(日)		
8時30分～	受付	B棟1階オープンスペース
9時～12時10分	自由報告	
	A会場 第1分科会	B棟208
	B会場 第2分科会	B棟210
セミナー終了後	若手研究者交流の会	場所未定

【第39回家族関係学セミナー事務局】

神戸大学大学院人間発達環境学研究科 中谷奈津子

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区鶴甲3-11

電話：078-803-7905（代表） FAX：078-803-7939

E-mail:nakatani-n@silver.kobe-u.ac.jp

第1日 10月12日(土)

12時 ～ 受付 B棟1階オープンスペース

13時 ～ 16時 公開シンポジウム B棟202

テーマ：地域におけるグローバル化と多文化共生

－受け入れ国と送り出し国の家族・子ども・教育－

コーディネーター・司会：森田 美佐（高知大学准教授）

磯部 香（高知大学講師）

【趣旨】

改正出入国管理法が2018年12月に成立し、2019年4月施行された。この法は外国人労働者の受入れ拡大を目指したものであるが、それは少子高齢化と労働力不足という課題をかかえる日本社会に大きな影響を及ぼすものとなる。私たちが暮らす地域では、外国をルーツとする人たちの力によって生活が支えられている現実がある。しかし加速する日本のグローバル化は、外国をルーツとした人々の人権が尊重され、かれらが安心して暮らせる社会に向っているだろうか。

本シンポジウムでは、特に国籍や文化等、様々な背景を持つ子どもやその家族に着目し、彼らを取り巻く様々な生活問題を通して、日本の地域社会における多様性の尊重と多文化共生の可能性を模索したい。

【シンポジスト】

報告1 上野 加代子氏（東京女子大学 現代教養学部 教授）
移民社会と児童虐待問題－日本で子育てをすること

報告2 志岐 良子氏（特定非営利活動法人 神戸定住外国人支援センター）
外国にルーツをもつ子どもと保護者への神戸での実践と課題

報告3 上野 顕子氏（金城学院大学 生活環境学部 教授）
外国につながるのある子どもたちと家庭科教育

16時30分 ～ 17時30分 総会 B棟202

18時 ～ 20時 懇親会 鶴甲第2キャンパス食堂

第2日 10月13日(日)

8時30分～ 受付 B棟1階 オープンスペース

9時～12時10分 自由報告 B棟2階 B208 B210
報告20分(1鈴:終了1分前、2鈴:終了) 質疑応答5分 計25分

A会場:第1分科会 B棟208

座長:中川 まり(東京女子大学)

1. E. W. Burgess とこどもの発達
天木 志保美
2. 未就学児を持つ母親の世代間コミュニケーションと父親・母親の育児
大風 薫(お茶の水女子大学)
3. 医療的ケア児を育てる母親の就業
春木 裕美(大阪府立大学・院)
4. 子育て女性の就業について —社会資源の利用とジェンダー意識からの考察—
田 嬢(お茶の水女子大学・特別研究員)

【休憩】10時40分～10時55分

座長:井上 清美(川口短期大学)

5. 子育てしている父親 —男性というマジョリティの中のマイノリティー—
巽 真理子(大阪府立大学)
6. 共働き家族における家庭内労働の分担と妻のワーク・ライフ・バランス
中川 まり(東京女子大学)
7. 地方都市における性別役割分業と男女平等に関する意識
松島 悦子(長浜バイオ大学)

B会場：第2分科会 B棟210

座長：李 秀眞（弘前大学）

1. 現代韓国の育児援助と親族関係 —2016年昌原調査に基づいて—
○山根 真理（愛知教育大学）・李 璟媛（岡山大学）・平井 晶子（神戸大学）・
呉 貞玉（昌原文星大学）
2. 男性脱北者の韓国社会への適応と生存戦略
尹 鈺喜（同志社大学）
3. ジェンダー意識に関する日本とフィリピンの比較研究
駒田 笑奈（名古屋大学・院）
4. 大学生のケア意識と情緒規範に関する国際比較
—名古屋・大連・コペンハーゲンにおける質問紙調査をもとに—
○宮坂 靖子（金城学院大学）・青木 加奈子（京都ノートルダム女子大学）・
磯部 香（高知大学）・山根 真理（愛知教育大学）・李 東輝（大連外国語大学）・
鄭 楊（哈爾濱師範大学）

【休憩】10時40分～10時55分

座長：橋本 有理子（関西福祉科学大学）

5. 理想とする人生の最終段階 —ある高齢単身女性の語りより—
浦口 美穂（東洋英和女学院大学・院）
6. 実践家と研究者の協働による家族生活教育（Family Life Education）の試み
—徳島県の中高年を対象として—
○黒川 衣代（鳴門教育大学）・坂本 有芳（鳴門教育大学）
7. キャンパスのユニバーサルデザイン化に向けて —車いすユーザー視点からの検討—
赤松 瑞枝（跡見学園女子大学）